

登録番号 13 — 018
氏名 寺岡 剛太

登録番号 19 — 001
氏名 石井 大輔

登録番号 14 — 011
氏名 西 春彦

大阪市地域公共人材活動報告書

- 1 派遣日時 2022年6月21日(火) 15:30 ~17:00
(初回ヒアリング)
2 派遣場所 たちばな会館／特定非営利活動法人ところ
3 参加人員 7人(ところ:2名、公共人材:3名、大阪市:2名)
4 活動内容

＜派遣依頼内容＞

これまで宣伝ツールとしてホームページをはじめとしたツールを独自に作成・運営していたが、宣伝効果が伸び悩み、独自にツールの改善を行うには広報・デザインなどの技術ノウハウがないため、第三者の意見を取り入れ改善を図りたい。

＜派遣目標・目的＞

広報活動の全体像を把握し、伝えたい人と伝えたいメッセージを整理し、自団体にあった広報ツールを選び、使うことができるようになること。先方からの派遣内容は、ウェブサイトを想定していたが、ウェブサイトに限定せずに考えることになった。

＜派遣内容＞

- 第1回 広報の全体像を理解する
- 第2回 事業の“メッセージ”を整理する。(プレゼン)
- 第3回 ユーザーを理解する(受益者は誰? こども? 保護者? 社会?)
- 第4回 広報ツールのコネクティングと業界の研究をする。(他団体事例)
- 第5回 広報ツールの活用

次回派遣(第1回)は7月12日(火)15:30~17:30(オンライン)。

派遣内容の順番は前後する可能性があるが、全5回を月1回のペースで2022年12月までに実施予定。

＜所感＞

過去のWEB広報関係での体験、失敗を参加者で共有し、単にツールの研究だけでなく、
1 事業全体の理解 → 2 必要な広報相手、手段 → 3 有効な広報目的、方法
の順に深堀りをしたほうがより効果的に派遣を活用できるのではないかと考えた。

<所感>

団体のお二方はとても真面目に活動に取り組んでいるという印象を受けました。真面目すぎるゆえに、一般的に炎上とも言えない SNS 上での反応も過度に敏感になっていると思います。これまでの「(特活) ところ(※)」の活動を理解することを通じて、団体のお二方の信頼を得て、お二人が期待するような広報活動が実現するようにファシリテーション／コーディネーションしていきたいと思います。

※特定非営利活動法人ところは、不登校のこどもたちに、自信と誇りに満ち溢れるこどもを育む居場所づくり事業を行い、地域福祉の増進に寄与することを目的としています

<所感>

現在、伝えたいものが伝えたい人に伝えられていない状態でしたが、そのために何が必要かが少し見えてこられた気がします。戦略的なこと、技術（コーディング、デザイン、ツール選定、マーケティング）などやりたいことが多岐にわたるが今は運営がお二人しかいないので、お二人で負担なく継続できるよう、ある程度限定した（エリア、ターゲット、ツール選定等）施策が必要かと思います。

以前使っていた FACEBOOK(※)は反響があったとのことでしたが、悪意あるコメントでやめられたとのこと。今後どのツールを使うかの判断の時、詳細の確認が必要だと思います（どのような内容をどのような人に発信したか？ どんなコメントがきたのか？）

※FACEBOOK は、個人と個人のつながりを維持し、情報を共有するためのプラットフォーム